

災害時要援護者(高齢者や障がい者等)を守る地域づくりセミナー

○ セミナーの目的

東日本大震災では、高齢者の死者数や障がい者の死亡率が高く、消防団や民生委員等の支援者も犠牲になりました。一方で、昨年度の北部九州豪雨災害では、地域ぐるみの避難・近隣の助け合いが要援護者の命を救っています。

本セミナーでは、今年度県事業でモデル的に地域づくりに取り組んできた4地域の取組発表を通じた地域づくりについて学ぶとともに、備蓄物資の展示や備蓄食の作り方など県民の日常生活に役立つ知識を得ることを目的に開催します。

主催 大分県・大分県社会福祉協議会

日時 平成26年2月5日(水) 13時～16時30分

場所 音の泉ホール(iichiko総合文化センター 5階)

参加 参加費無料(予約不要)
来場者は備蓄食をプレゼント!(700食限定)

■ ■ 第1部(13時～14時) ■ ■

地域における災害対策のあり方 [基調講演]

《講師》山崎 栄一 氏(国立大学法人大分大学教育福祉科学部)

■ ■ 第2部(14時10分～14時40分) ■ ■

被災者も支援者も一緒につくる非常食 [実演]

《講師》木ノ下 勝矢 氏(NPO法人レスキューサポート九州 代表理事)

■ ■ 第3部(14時50分～16時30分) ■ ■

災害時要援護者(高齢者や障がい者等)を守る地域づくり事例発表

《コメンテーター》山崎 栄一 氏

《発表者》中津市山国町中摩地区・佐伯市蒲江町丸市尾地区

津久見市青江赤垣地区・豊後高田市呉崎地区

会場では、各種展示も行いますので、ぜひ手にとってご覧ください。

- ・簡易パーテーションや段ボールベッドなど避難所支援用具の展示
- ・避難生活に必要な備蓄物資の展示(3日分)

自分の命は自分で守る
地域による地域のための支援について学ぶ

●問い合わせ先 / 大分県地域福祉推進室 ☎097-506-2622